

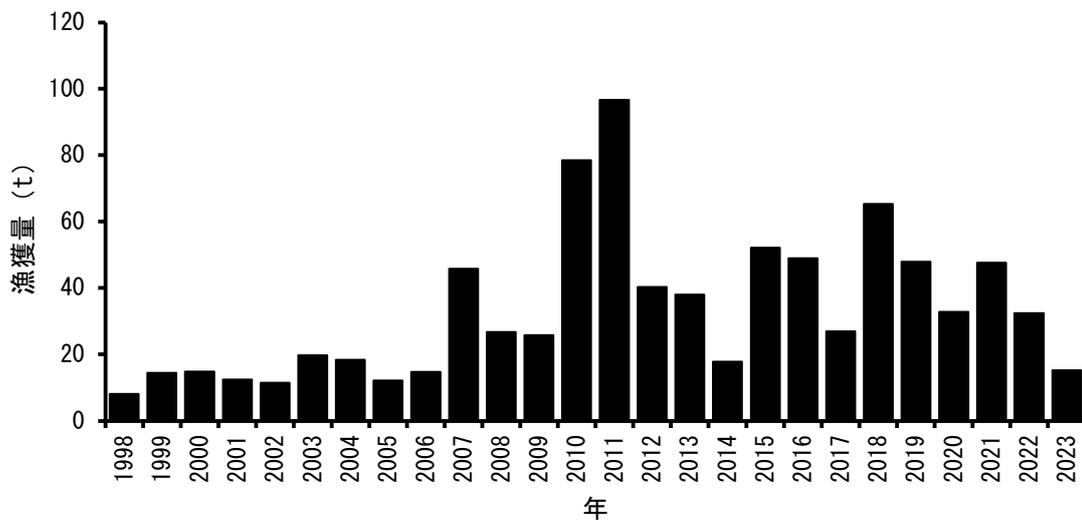
## 千葉県 沿岸重要水産資源 令和6年度漁獲動向

## マナマコ



- ・ 潜水器，小型機船底びき網などで漁獲される。
- ・ 主な生息場所は内湾の砂泥地である。
- ・ 夏季に水温が上昇すると夏眠し，活動が不活発になり，体重が大きく減少する。
- ・ 体色が異なるクロ，アオ，アカの三型のナマコは全てマナマコとされていた時期があったが，現在はクロナマコ，アオナマコがマナマコと定義されている。

## 漁獲量



県内主要漁協におけるナマコ漁獲量の経年変化（千葉県調べ）

“ナマコ”の銘柄が設定されている県内主要漁協のナマコ漁獲量は，2003年以降増加し，2011年に97tを記録したが，その後減少し，2014年には18tとなった。その後は増加傾向となり，2018年に65tとなったが，以降は減少し，2023年には15tとなった。

## 備考

- ・ 本県で“マナマコ”銘柄が設定されている地区はない。
- ・ 多くの地区で“ナマコ”として水揚げされているが，外房地区ではアカナマコ，銚子地区ではオキナマコが混在していると考えられ，詳細な漁獲実態は不明である。
- ・ 水揚げデータがなく，漁獲金額のみ集計されている地区があり，重量単位ではなく，個数単位で取引されている。
- ・ 本種の資源評価を進めるためには，各市場で“マナマコ”銘柄の設定と共に重量単位での取引を徹底してもらい，本種単独の水揚げデータの蓄積を図る必要がある。